

ビジネスクリエーター研究学会第8回大会  
自由論題報告

# 消費構造変化におけるビジネス・チャンス

—全国消費実態調査による消費に関する分析—

中谷 義浩（中谷総合研究所株式会社）

2012年3月20日（火） 於 立教大学池袋キャンパス

# 1. 問題意識

家計における消費構造が変化している。



そうであれば、家計における消費の変化を分析することは、消費財、サービスにかかわる企業のビジネス・チャンスを考える上で重要である。

## <家計の消費構造変化の背景>

### (1) 経済的要因として、

日本の金融資産個人金融資産残高 1441兆3391億円

出所: 日本銀行 資金循環統計 2009年6月末現在

世帯主60歳以上の世帯が金融資産総額の59.7%を占める

出所: 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」(二人以上世帯調査)(2009年)

### (2) 人口的要因として、

日本の高齢化率が2005年 20.2%、2010年 23.1%、2015年 26.9%、2020年 29.2%と推測され高齢者の人口数も増加する。 出所 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県将来人口推計

### (3) 社会的要因として

高齢者層は退職後、時間的ゆとりを得る階層で、新たな消費機会が増え、消費市場に大きな影響を及ぼす可能性がある。

## 2. 目的

---

家計の消費構造がどのように変化しているのかを、特に高齢者世帯に焦点をあて、「コーホート分析法」によりその動向を探る。 \* 高齢者世帯とは世帯主が60歳以上の世帯

### (1) コーホート分析とは

コーホート分析は、同一調査項目について得られる年齢×調査時点別の集計データから、年齢・時代・世代(コーホート)別に効果を分離することによって、その調査項目の変化の要因を明らかにしようとする手法である。

### (2) コーホート分析の意義

消費に関するデータを3つの効果に分離し注目することで、特定の階層がどのような消費行動をとるのか、ある程度予測することができる。

## 2. 目的（続き）

---

### (3) 年齢効果・時代効果・世代効果とは

#### ① 年齢効果

データの変動が生理的側面やライフステージによるもので、ある年齢にともなういつも同じように変化する。

#### ② 時代効果

データの変動が経済環境や市場環境によるもので、その時代に特有の一時的な現象としてとらえられる。

#### ③ 世代効果

データの変動が同世代特有の個人の意識や行動によるもので、生涯を通し影響を与えるものである。

### 3. コーホート表

コーホート分析に用いられるデータの形式をコーホート表と呼ぶ。

コーホート表とは年齢区分×調査時点の形式に分析対象のデータを集計・整理したものである。

今回利用する「全国消費実態調査」の集計でデータは年齢区分が5歳刻み、調査間隔5年であり、入手できる最新の調査結果が2009年時であることから、1994年、1999年、2004年、2009年の4回の調査結果を用い、10大費目別の支出割合それぞれについての標準コーホート表の作成する。

表1 標準コーホート表

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳～
1994年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1999年	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
2004年	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
2009年	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

 は2009年時点で60歳～64歳の1945年～1949年生まれの世代の推移を表す

## 4. 推定方法

### (1) データ

全国消費実態調査より1994年、1999年、2004年、2009年の4時点の全世帯の世帯主5歳刻みの年齢階級別に全消費支出に占める10大費目別支出割合（表2-1、表2-2参照）

### (2) 推定式

標準コーホート表の作成による、ダミー変数を利用した最小二乗法を用いる。

$$C_{ij} = \mu + \beta_i + \gamma_j + \delta_k + \varepsilon_{ij}$$

( $i = 1, \dots, I$ ;  $j = 1, \dots, J$ ;  $k = 1, \dots, K$ ;) )

$C_{ij}$  : 費目別消費支出割合 (%)

$\mu$  : 総平均;  $\beta_i$ : 年齢効果;  $\gamma_j$ : 時代効果;  $\delta_k$ : 世代効果;  $\varepsilon_{ij}$ : ランダム効果

### (3) 制約条件

説明変数間に線形関係が生じ、パラメータが一意に決定することができないため、「1919年生まれ以前」の世代と「1920年～24年生まれ」の世代の効果を同一と仮定して分析を行う。

表2-1 調査時点別・年齢階級別・10大費目別消費支出割合と1ヶ月の消費支出額 1994年と1999年

出所：全国消費実態調査年報 収支編 全世界 1994年 1999年 2004年 2009年より作成

単位：支出割合 %、金額 円

1994年	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他	合計	1ヶ月消費支出額
24歳以下	23.8	16.3	3.7	2.6	7.7	1.6	13.8	0.5	15.7	14.2	100.0	162,902
25～29歳	22.8	17.3	4.6	2.8	6.1	2.5	14.9	0.8	11.6	16.5	100.0	226,013
30～34歳	24.0	11.8	5.2	3.4	6.0	3.4	13.1	3.0	11.0	19.1	100.0	271,094
35～39歳	26.9	7.5	5.7	3.6	6.3	3.0	11.3	4.8	11.4	19.4	100.0	301,019
40～44歳	27.7	4.9	5.7	3.4	6.0	2.5	10.6	7.7	10.2	21.3	100.0	333,240
45～49歳	24.0	4.0	5.2	3.1	5.9	2.2	10.3	9.9	8.1	27.4	100.0	390,810
50～54歳	21.9	4.1	5.0	3.4	6.1	2.3	10.4	6.5	7.6	32.7	100.0	401,070
55～59歳	22.1	4.5	5.2	4.0	6.3	2.6	10.3	2.6	8.6	33.8	100.0	360,628
60～64歳	23.6	5.7	5.7	4.3	6.4	3.6	10.2	0.8	10.3	29.4	100.0	300,336
65～69歳	24.5	7.0	6.0	4.1	6.2	4.6	9.4	0.6	11.0	26.6	100.0	254,059
70～74歳	24.4	8.0	6.3	4.7	5.5	4.4	8.2	0.6	11.4	26.6	100.0	220,472
75歳以上	26.1	8.6	7.0	4.3	4.9	5.0	7.5	0.9	10.5	25.3	100.0	187,414
1999年	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他	合計	1ヶ月消費支出額
24歳以下	24.3	17.7	4.3	1.8	7.5	2.5	16.2	0.4	13.3	12.1	100.0	167,956
25～29歳	22.6	17.1	4.6	2.1	5.4	2.6	17.4	0.7	12.4	15.1	100.0	216,316
30～34歳	22.8	13.8	5.5	2.8	5.3	3.4	14.8	2.7	11.4	17.4	100.0	256,858
35～39歳	25.5	9.2	5.9	3.7	5.2	3.3	12.9	4.4	12.2	17.8	100.0	289,605
40～44歳	26.6	6.3	6.0	3.1	5.2	3.0	12.6	6.8	11.0	19.3	100.0	325,285
45～49歳	24.1	4.8	5.7	2.9	4.8	2.4	11.3	9.3	8.8	25.9	100.0	364,546
50～54歳	21.5	5.1	5.3	3.0	5.0	2.5	11.9	6.6	7.7	31.4	100.0	381,303
55～59歳	22.3	6.2	5.5	3.5	5.2	3.0	11.6	2.3	8.9	31.6	100.0	349,042
60～64歳	23.1	7.9	6.0	3.9	5.2	3.8	10.7	0.9	10.9	27.8	100.0	305,153
65～69歳	24.9	7.5	6.6	4.1	5.2	4.8	10.1	0.4	12.0	24.5	100.0	256,425
70～74歳	25.0	8.9	6.8	4.2	5.1	4.4	8.6	0.6	12.3	24.1	100.0	232,124
75歳以上	25.6	10.3	7.3	4.5	4.2	5.1	8.0	0.6	10.6	23.9	100.0	192,715

表2-2 調査時点別・年齢階級別・10大費目別消費支出割合と1ヶ月の消費支出額 2004年と2009年

単位：支出割合 %、金額 円

2004年	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他	合計	1ヶ月消費支出額
24歳以下	21.4	18.2	4.2	2.0	10.2	2.4	16.6	0.5	11.7	12.8	100.0	168,404
25～29歳	20.4	17.5	4.5	2.3	5.5	2.7	18.8	0.8	11.6	15.8	100.0	215,851
30～34歳	20.3	15.6	5.1	2.6	5.0	3.3	17.1	2.8	11.3	17.0	100.0	254,386
35～39歳	22.7	9.3	5.8	2.8	4.9	3.5	16.1	4.4	12.4	18.1	100.0	269,392
40～44歳	23.9	6.9	6.0	2.8	4.6	3.4	14.5	7.1	11.5	19.3	100.0	299,854
45～49歳	22.5	4.9	5.6	2.4	4.5	3.1	14.2	10.2	9.3	23.2	100.0	348,523
50～54歳	20.7	4.5	5.6	2.7	4.1	2.9	13.7	8.1	8.4	29.1	100.0	361,616
55～59歳	21.3	5.3	5.6	3.1	4.5	3.7	14.1	3.2	9.1	30.0	100.0	328,967
60～64歳	23.1	6.5	6.2	3.6	4.3	4.9	13.2	0.7	10.6	26.8	100.0	293,006
65～69歳	23.6	7.1	6.6	3.6	4.1	5.6	11.4	0.3	12.2	25.4	100.0	255,058
70～74歳	23.5	9.4	6.8	3.4	4.2	5.2	10.2	0.4	12.2	24.6	100.0	231,960
75歳以上	23.8	10.4	7.1	3.9	3.8	6.2	8.6	0.5	11.3	24.4	100.0	203,592
2009年	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	その他	合計	1ヶ月消費支出額
24歳以下	20.4	24.1	5.4	2.0	6.0	2.8	14.7	0.3	9.6	14.7	100.0	155,439
25～29歳	20.1	21.7	4.7	2.4	5.5	2.8	16.1	1.1	11.8	13.9	100.0	209,994
30～34歳	21.4	14.5	5.4	2.9	4.8	3.4	16.7	3.0	11.4	16.5	100.0	240,905
35～39歳	23.1	10.2	5.9	3.0	4.5	3.8	16.2	4.8	12.1	16.4	100.0	257,420
40～44歳	23.6	7.4	6.1	2.7	4.5	3.8	15.5	7.4	12.4	16.6	100.0	283,154
45～49歳	21.9	5.9	5.8	2.5	4.5	3.3	14.8	10.5	9.9	21.0	100.0	327,842
50～54歳	21.1	4.8	5.7	2.5	4.2	3.3	15.1	9.3	8.6	25.5	100.0	339,992
55～59歳	22.1	5.8	6.0	3.0	4.0	3.8	15.0	3.9	9.7	26.8	100.0	310,147
60～64歳	23.7	6.8	6.4	3.6	3.9	4.7	14.4	0.9	11.4	24.2	100.0	275,058
65～69歳	24.1	6.7	6.6	3.6	3.6	5.8	13.3	0.2	12.8	23.3	100.0	251,346
70～74歳	24.8	7.4	7.1	3.6	3.7	5.4	11.5	0.3	13.2	22.9	100.0	221,843
75歳以上	24.5	8.4	7.5	3.7	3.7	6.6	8.5	0.3	12.0	24.8	100.0	195,924

# コーホート分析結果

## 表3-1

説明変数	食料		住居		光熱・水道		家具・家事用品		被服及び履物		
	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	
自由度調整済 決定係数	0.963		0.978		0.985		0.933		0.888		
切片	23.55	90.67 ***	6.70	11.88 ***	6.35	83.13 ***	3.56	25.92 ***	3.85	12.79 ***	
年齢効果	24歳以下	-3.90	-1.07	11.16	1.41	-3.10	-2.90 **	2.61	1.36	3.34	0.79
	25～29歳	-4.90	-1.54	12.02	1.74 *	-2.53	-2.71 **	2.50	1.49	0.88	0.24
	30～34歳	-4.18	-1.53	8.16	1.37	-1.76	-2.19 **	2.50	1.73 *	1.04	0.33
	35～39歳	-1.65	-0.72	3.36	0.68	-1.17	-1.74 *	2.33	1.93 *	1.04	0.39
	40～44歳	-0.80	-0.44	0.87	0.22	-0.95	-1.77 *	1.47	1.52	0.86	0.41
	45～49歳	-2.92	-2.11 **	-0.61	-0.20	-1.16	-2.85 ***	0.59	0.80	0.66	0.41
	50～54歳	-4.21	-4.46 ***	-1.13	-0.55	-1.14	-4.12 ***	0.21	0.41	0.46	0.42
	55～59歳	-2.59	-5.00 ***	-0.71	-0.63	-0.72	-4.73 ***	0.12	0.43	0.39	0.64
	60～64歳	基準値 0									
	65～69歳	2.04	3.93 ***	-0.39	-0.35	0.59	3.85 ***	-0.61	-2.23 **	-0.50	-0.84
	70～74歳	3.30	3.39 ***	0.22	0.10	1.11	3.88 ***	-1.11	-2.15 **	-0.85	-0.76
75歳～	4.66	3.49 ***	0.64	0.22	1.75	4.45 ***	-1.53	-2.17 **	-1.47	-0.95	
時代効果	1994年	3.40	2.52 **	-2.16	-0.74	-0.02	-0.06	-0.96	-1.35	1.46	0.94
	1999年	2.46	2.65 **	-0.60	-0.30	0.15	0.56	-0.76	-1.56	0.70	0.66
	2004年	0.13	0.28	-0.38	-0.37	-0.03	-0.25	-0.55	-2.20 **	0.37	0.68
	2009年	基準値 0									
世代効果	1985年～	0.76	0.21	6.26	0.79	2.20	2.05 *	-4.15	-2.15 **	-1.22	-0.29
	1980～1985年	1.54	0.48	1.84	0.27	0.89	0.95	-3.63	-2.15 **	1.68	0.45
	1975～1979年	1.95	0.71	-0.21	-0.04	0.82	1.02	-3.33	-2.31 **	-0.05	-0.01
	1970～1974年	1.04	0.46	0.21	0.04	0.59	0.87	-2.86	-2.37 **	-0.41	-0.16
	1965～1969年	0.79	0.43	-0.06	-0.01	0.74	1.38	-2.41	-2.48 **	-0.21	-0.10
	1960～1964年	1.14	0.82	-0.44	-0.14	0.64	1.57	-1.63	-2.22 **	-0.28	-0.18
	1955～1959年	1.62	1.71 *	-0.66	-0.32	0.48	1.74 *	-1.23	-2.46 **	-0.18	-0.16
	1950～1954年	1.22	2.34 **	-0.51	-0.45	0.40	2.59 **	-0.58	-2.13 **	-0.36	-0.59
	1945～1949年	基準値 0									
	1940～1944年	-1.03	-1.98 **	0.52	0.46	-0.23	-1.51	0.61	2.22 **	0.24	0.40
	1935～1939年	-2.33	-2.45 **	1.03	0.50	-0.42	-1.51	1.16	2.32 **	0.59	0.54
	1930～1935年	-3.41	-2.47 **	1.72	0.57	-0.58	-1.43	1.69	2.32 **	1.10	0.69
	1925～1929年	-4.43	-2.43 **	2.97	0.75	-0.89	-1.65	2.35	2.44 **	1.25	0.59
	1920～1924年	-5.46	-2.27 **	3.40	0.65	-1.07	-1.51	3.20	2.52 **	1.05	0.38

表中の\*\*\* は1%有意水準 \*\* は5%有意水準 \* は10%有意水準で有意であることを示す。

# コーホート分析結果

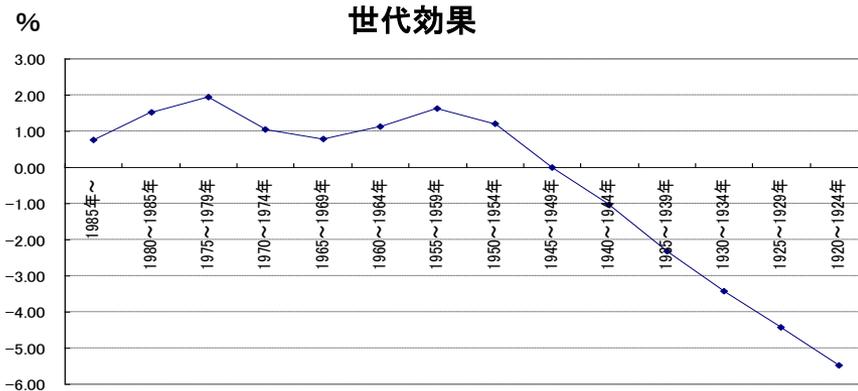
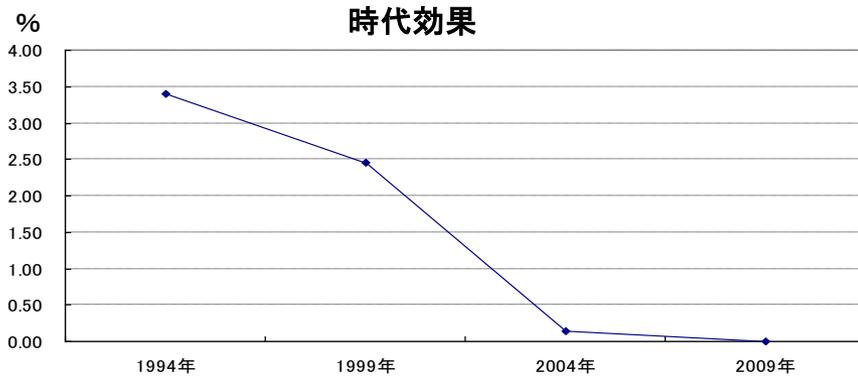
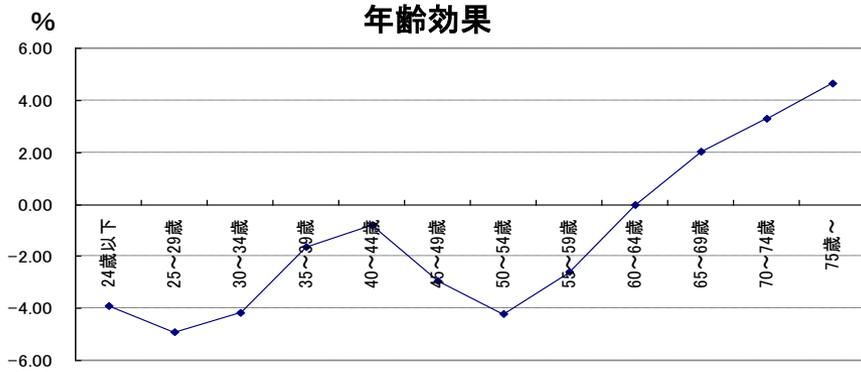
## 表3-2

説明変数	保健・医療		交通・通信		教育		教養・娯楽		その他		
	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	推定値	t値	
自由度調整済 決定係数	0.962		0.986		0.988		0.906		0.987		
切片	4.83	28.53 ***	14.29	36.10 ***	1.26	4.70 ***	11.36	30.20 ***	24.25	49.36 ***	
年齢効果	24歳以下	-0.40	-0.17	-6.61	-1.19	-2.70	-0.72	2.23	0.42	-2.62	-0.38
	25～29歳	-0.41	-0.20	-4.89	-1.01	-2.15	-0.66	0.15	0.03	-0.66	-0.11
	30～34歳	-0.02	-0.01	-5.51	-1.32	0.00	0.00	-0.86	-0.22	0.64	0.12
	35～39歳	-0.25	-0.16	-5.46	-1.57	1.81	0.77	-0.17	-0.05	0.17	0.04
	40～44歳	-0.71	-0.59	-4.70	-1.68	4.65	2.45 **	-0.62	-0.23	-0.07	-0.02
	45～49歳	-1.24	-1.37	-3.84	-1.82 *	7.71	5.38 ***	-2.53	-1.26	3.35	1.27
	50～54歳	-1.35	-2.19 **	-2.22	-1.54	5.91	6.06 ***	-3.14	-2.29 **	6.61	3.70 ***
	55～59歳	-0.90	-2.67 **	-0.73	-0.92	1.79	3.35 ***	-1.92	-2.56 **	5.28	5.39 ***
	60～64歳	基準値 0									
	65～69歳	0.88	2.60 **	0.22	0.28	-0.31	-0.58	1.41	1.89 *	-3.33	-3.39 ***
	70～74歳	0.56	0.89	-0.31	-0.21	-0.27	-0.27	2.07	1.47	-4.72	-2.57 ***
75歳～	1.44	1.66	-1.27	-0.62	-0.19	-0.14	1.20	0.62	-5.23	-2.07 *	
時代効果	1994年	-1.40	-1.59	-0.30	-0.15	0.31	0.22	-0.63	-0.32	0.30	0.12
	1999年	-1.04	-1.72	-0.08	-0.06	-0.13	-0.14	-0.45	-0.34	-0.25	-0.14
	2004年	-0.35	-1.14	0.73	1.01	-0.07	-0.14	-0.52	-0.76	0.68	0.75
	2009年	基準値 0									
世代効果	1985年～	-1.67	-0.70	7.04	1.27	1.73	0.46	-4.00	-0.76	-6.96	-1.01
	1980～1985年	-1.65	-0.79	7.45	1.53	2.03	0.62	-0.52	-0.11	-9.63	-1.60
	1975～1979年	-1.24	-0.70	8.39	2.02 *	1.85	0.66	0.56	0.14	-8.73	-1.69
	1970～1974年	-1.04	-0.70	7.36	2.11 **	1.68	0.71	1.57	0.47	-8.14	-1.88 *
	1965～1969年	-0.50	-0.42	6.10	2.18 **	1.47	0.77	1.36	0.51	-7.30	-2.10 **
	1960～1964年	-0.24	-0.27	4.33	2.04 *	1.41	0.98	1.24	0.62	-6.17	-2.35 **
	1955～1959年	-0.16	-0.25	3.01	2.09 **	1.47	1.51	0.73	0.53	-5.09	-2.85 ***
	1950～1954年	-0.17	-0.50	1.17	1.48	0.95	1.77 *	0.37	0.49	-2.48	-2.52 **
	1945～1949年	基準値 0									
	1940～1944年	0.21	0.62	-1.57	-1.98 *	-0.70	-1.30	-0.07	-0.10	2.02	2.06 *
	1935～1939年	0.10	0.16	-3.20	-2.21 **	-0.55	-0.56	-0.12	-0.09	3.73	2.07 *
	1930～1935年	0.19	0.21	-4.28	-2.03 *	-0.62	-0.44	-0.52	-0.26	4.71	1.80 *
	1925～1929年	0.19	0.16	-5.08	-1.82 *	-0.46	-0.25	-0.87	-0.33	4.97	1.44
	1920～1924年	0.10	0.07	-5.23	-1.43	-0.48	-0.19	-1.45	-0.42	5.93	1.30

表中の\*\*\* は1%有意水準 \*\* は5%有意水準 \* は10%有意水準で有意であることを示す。

# コーホート分析結果 グラフ

## 図 1 コーホート分析効果(食料)



## 図 2 コーホート分析効果(住居)

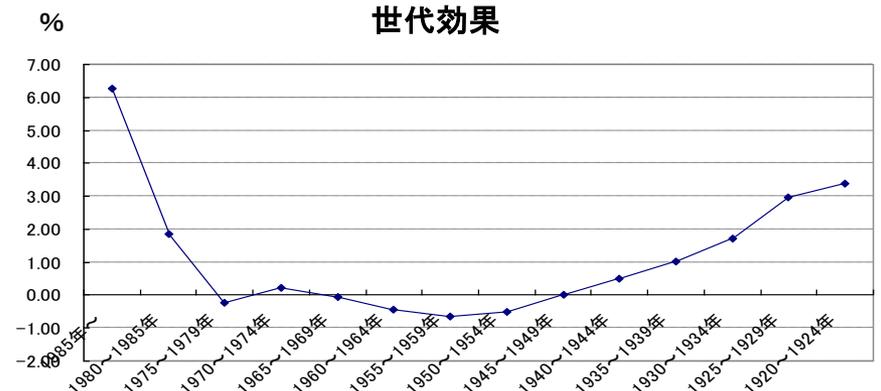
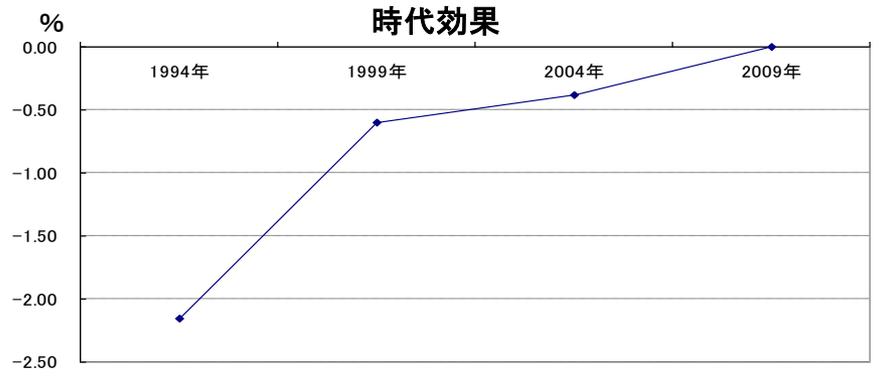
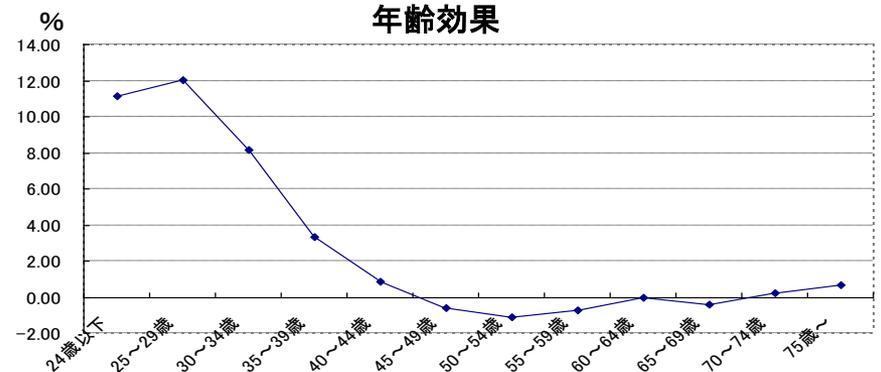


図 3 コーホート分析効果(光熱・水道)

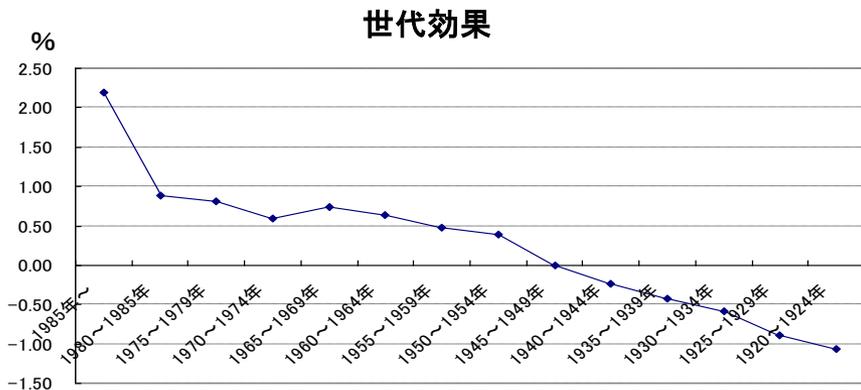
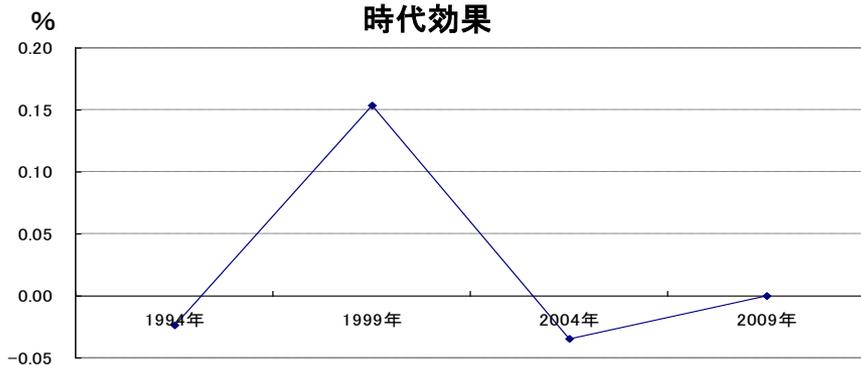
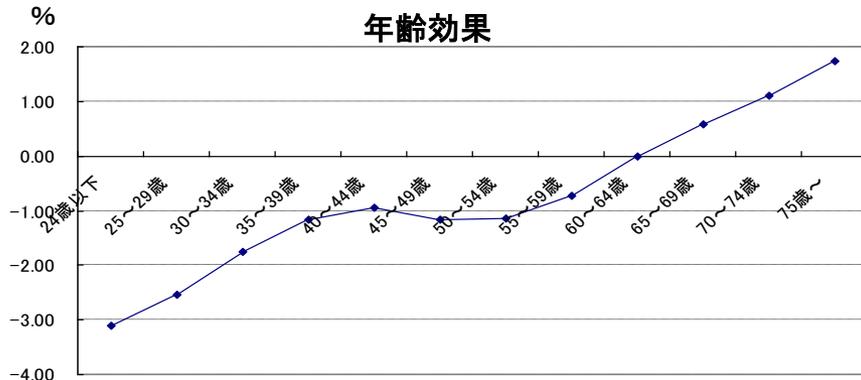


図 4 コーホート分析効果(家具・家事用品)

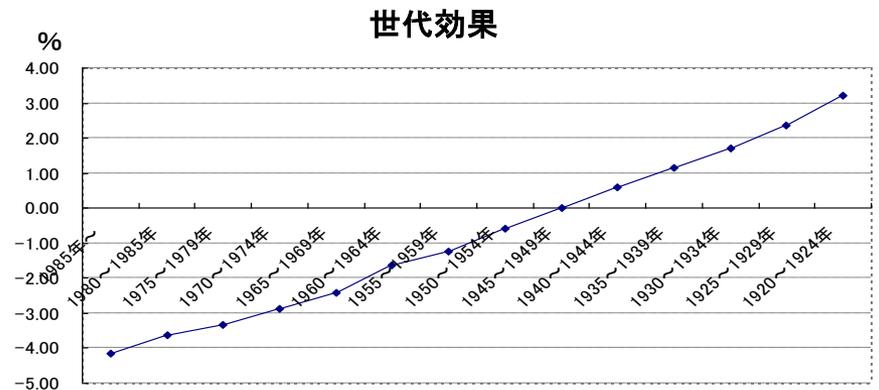
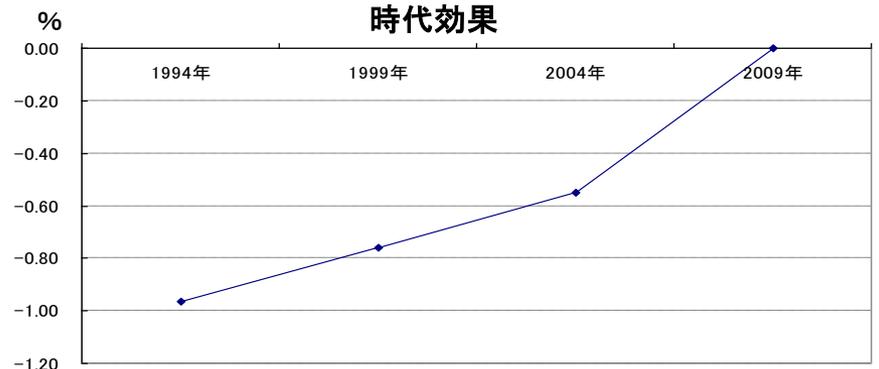
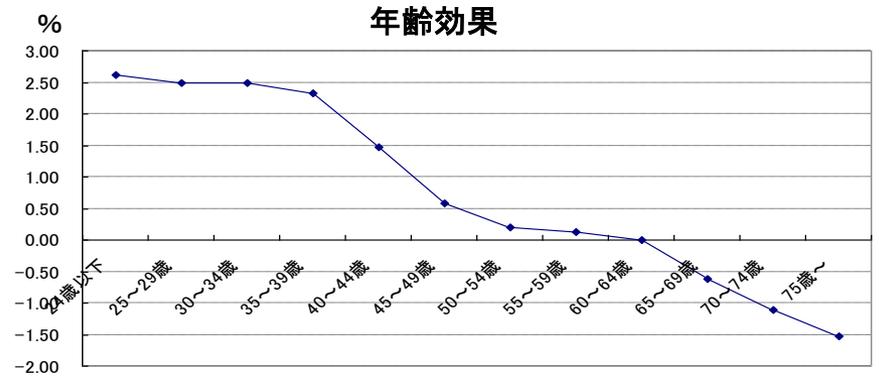


図 5 コーホート分析効果(被服及び履物)

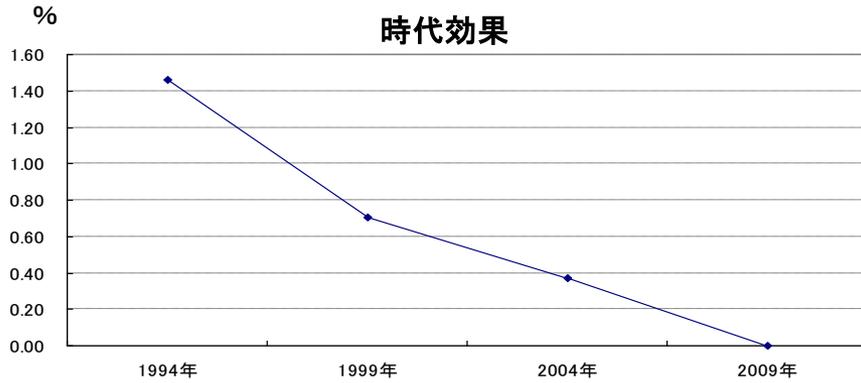
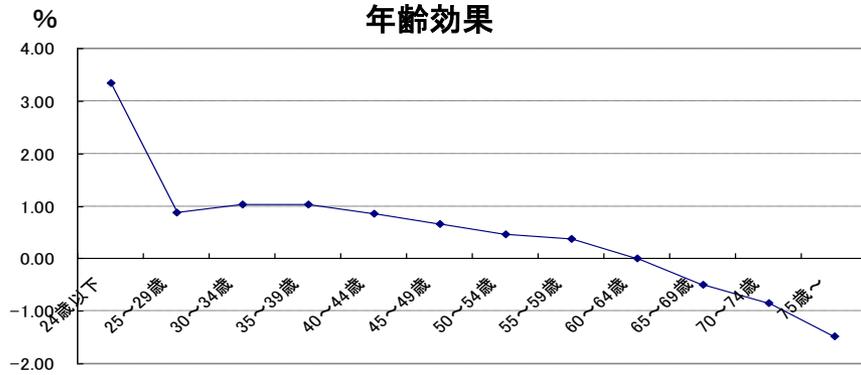


図 6 コーホート分析効果(保健・医療)

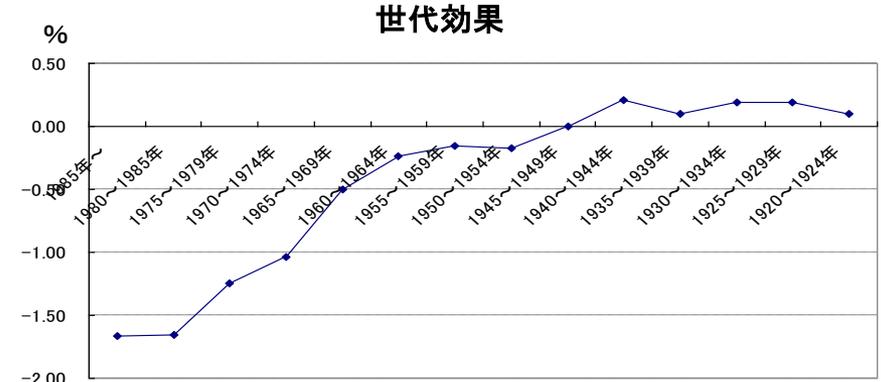
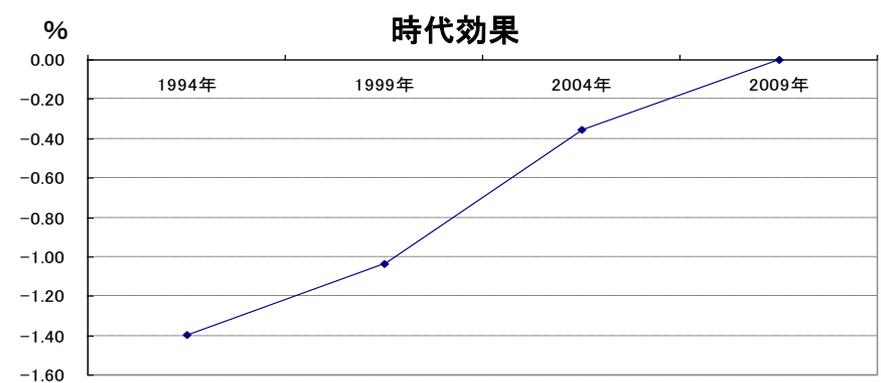
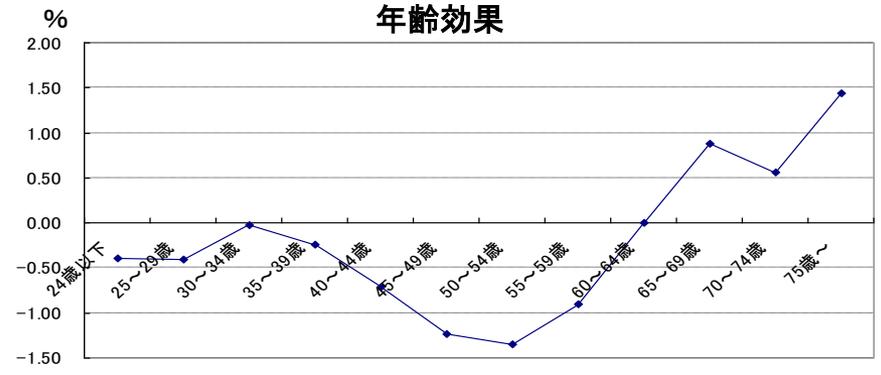


図 7 コーホート分析効果(交通・通信)

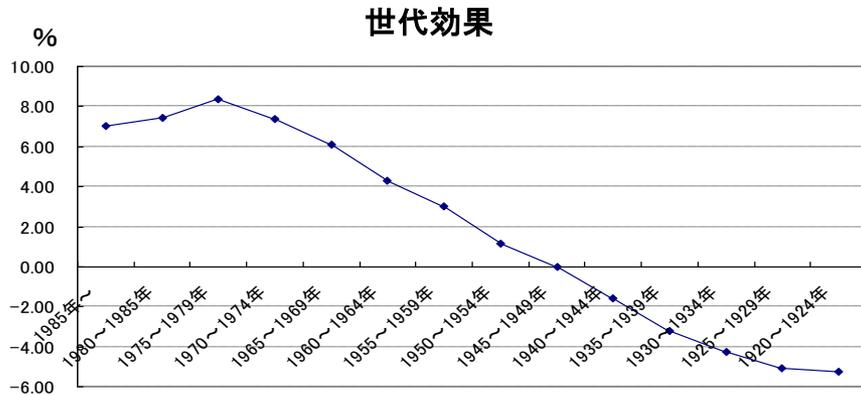
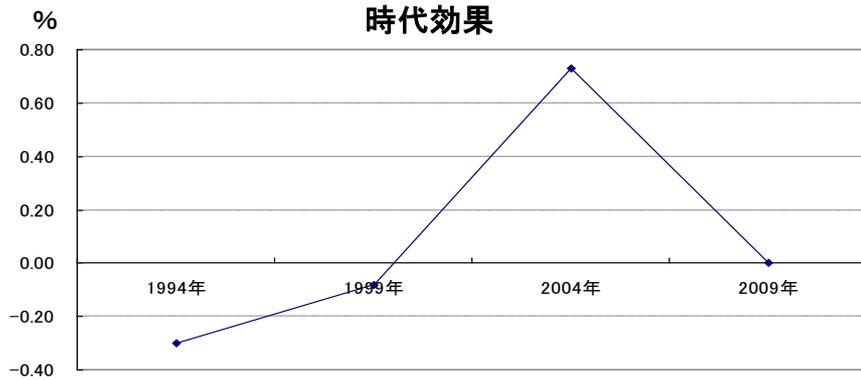
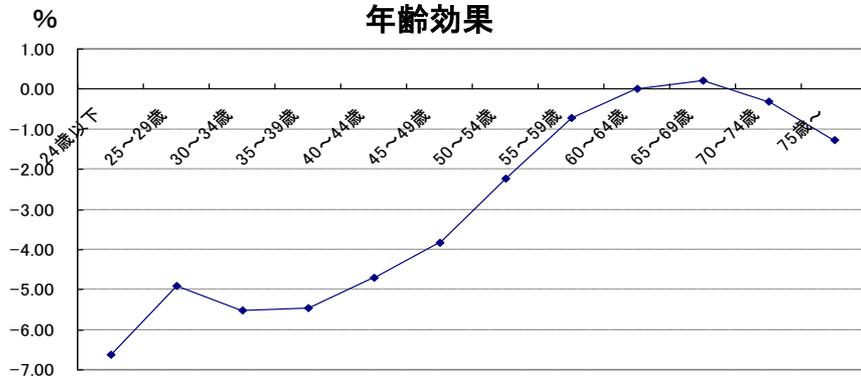


図 8 コーホート分析効果(教育)

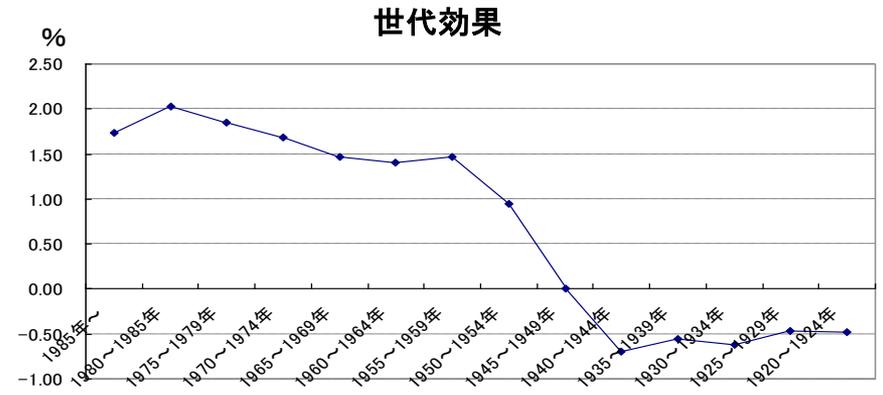
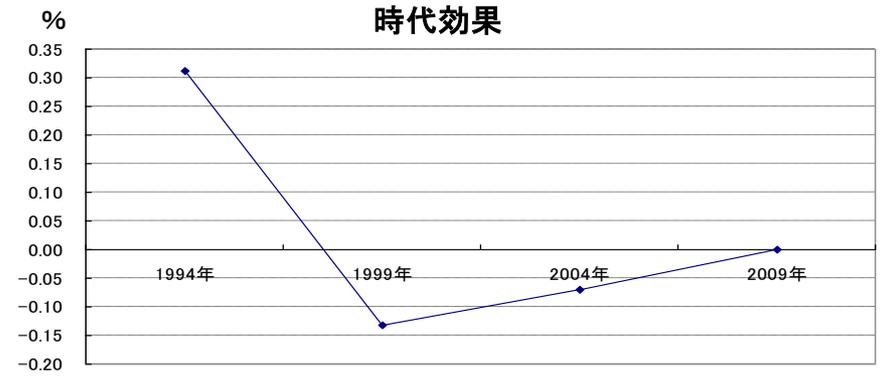
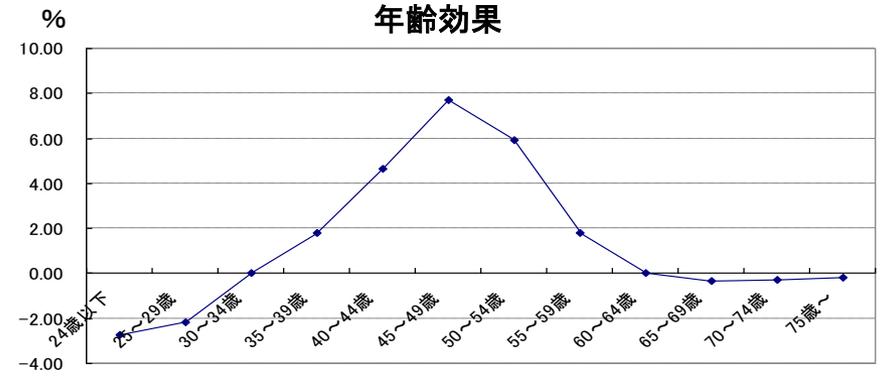


図 9 コーホート分析効果(教養・娯楽)

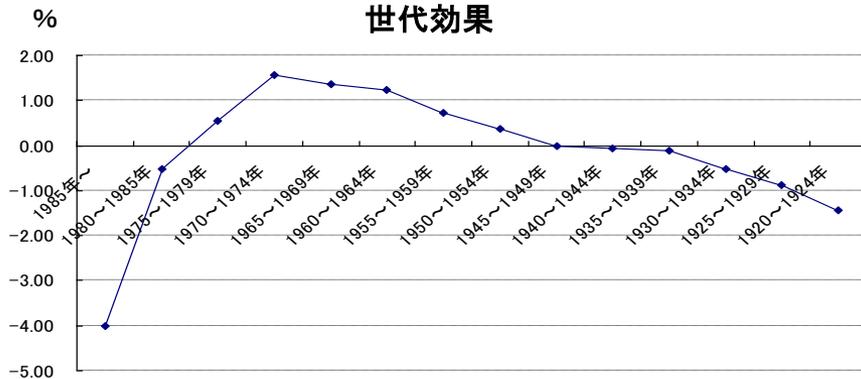
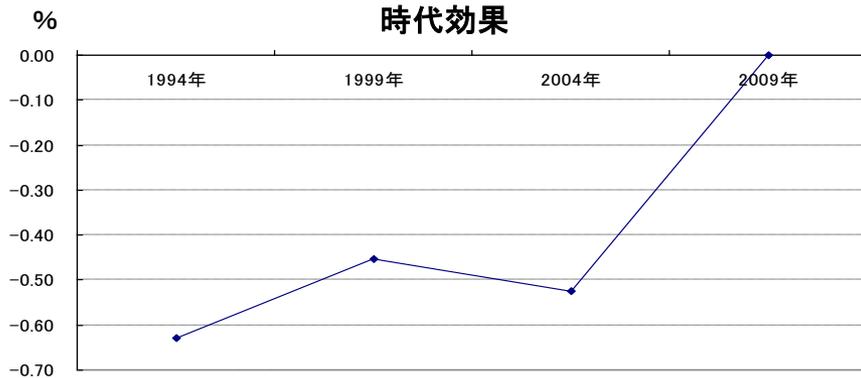
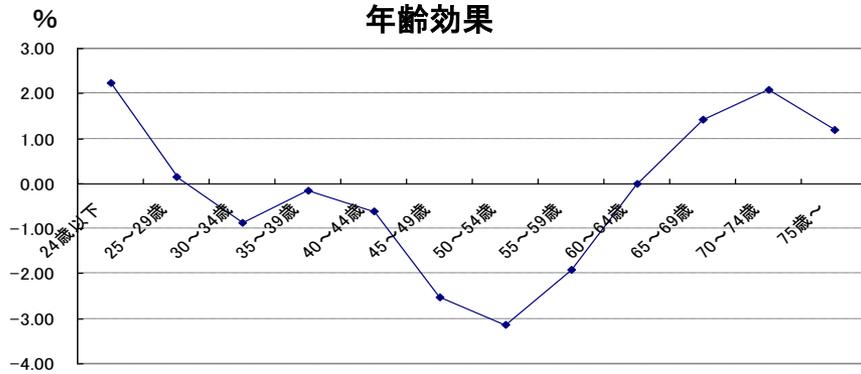
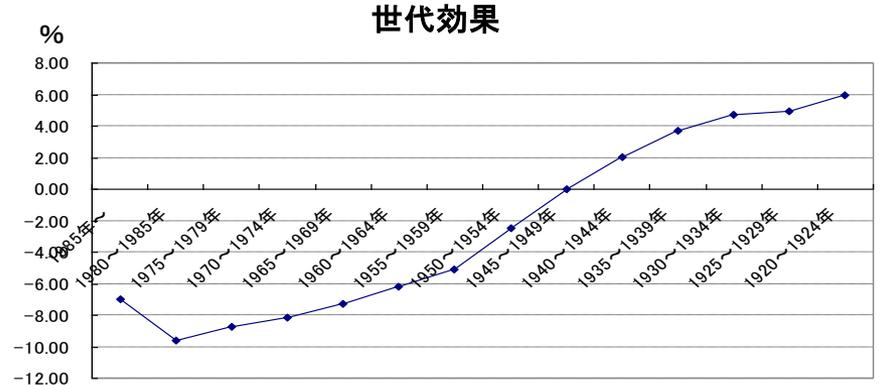
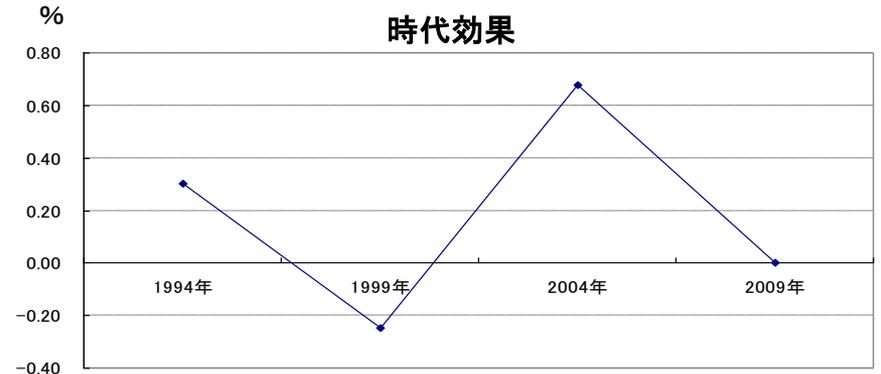
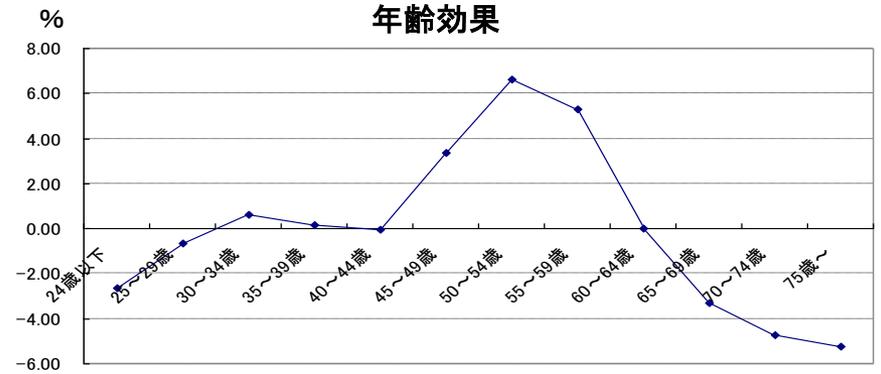


図 10 コーホート分析効果(その他)



## 5. 推定結果

---

有意水準を考慮し、高齢者世帯の消費支出割合について次のことが推定できる。

### (1) 年齢効果

高く出た費目は、食料、光熱・水道といった基礎的支出、比較的に高く出た費用は保健・医療と教養娯楽の選択的支出である。低く出た費目は家具・家事用品である。

### (2) 時代効果

趨勢として食料が低く、家具・家事用品、保健・医療は比較的高い傾向である。

### (3) 世代効果

1945年～1949年生まれ世代と比較してそれ以前生まれの世代では、低いものは食料、交通・通信で、高いものは家具・家事用品である。

## 6. まとめ

高齢者世帯市場へのビジネス・チャンスに関して、次のことを推察する。

- 年齢効果が高く、時代効果、世代効果が低い食品では、保健・医療が高いことから病気に対する予防としての健康志向食品マーケットが期待できる。
- 時代効果、世代効果が高い家具・家事用品では、年齢効果で光熱・水道が高いことから節電、節約型の耐久消費財などのマーケットが有望である。
- 年齢効果、時代効果で保健・医療が高いことから、総数の多い団塊世代の加齢とともに、医療、介護といった商品・サービス市場の拡大が加速することが予測できる。
- 年齢効果が高い教養娯楽では、時間的余裕のある高齢者にとってコミュニケーション・ツールとしてのパソコンやテレビなどの教養娯楽耐久財や旅行、カルチャー、スポーツなどの教養・娯楽サービスに対する需要が期待できる。
- 消費に大きな影響を与えるであろうと予想していた団塊世代の世代効果の特徴を見出すことはできなかった。